

海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成21年7月13日
大分県農林水産研究センター
水産試験場

県水産試験場の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日： 7月 7-10日

【海況】

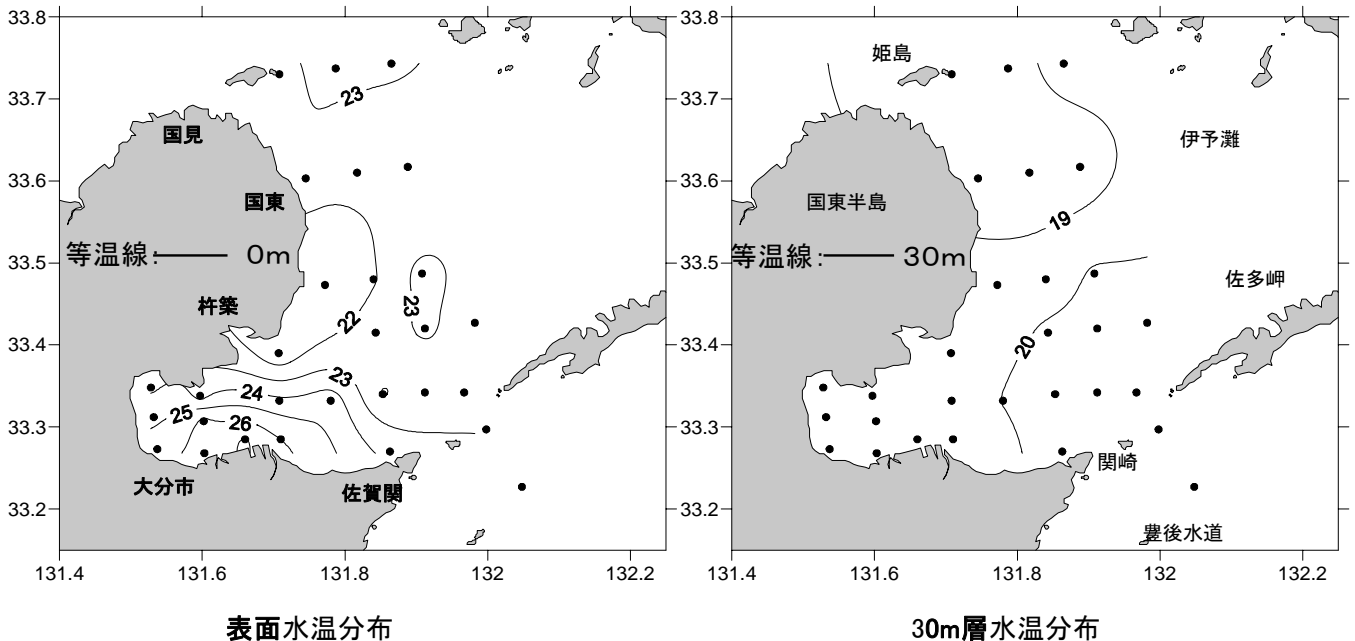
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	24.7	+ 4.7	+ 3.1	+ 1.5
	底層(-30m)	19.6	+ 2.2	+ 0.8	+ 0.9

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	22.5	+ 3.4	+ 1.6	+ 0.8
	底層(-30m)	19.5	+ 2.2	+ 0.8	+ 0.8

(水温分布)



「海況概要」

水温は別府湾、伊予灘で平年より高め傾向。

別府湾・国東半島沖合の表面水温は21～27℃台を示し、別府湾では前年より3.1℃高めで、平年より1.5℃高め。国東半島沖合では前年より1.6℃高めで、平年より0.8℃高めであった。

水深30m層は18～20℃台を示し、別府湾では前年より0.8℃高めで、平年より0.9℃高め。国東半島沖合では前年より0.8℃高めで、平年より0.8℃高めであった。

(黒潮情報：海上保安庁)

7月2日から7月9日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は25～27℃を示し、前年同期よりも1～2℃低め。黒潮は概ね都井岬・足摺岬沖でやや離岸している模様。

【魚群分布】

主な魚群の出現状況は、下表及び下図のとおりである。

s21-7号

(魚群の出現状況)

日	時刻	魚群の状況					水温 °C	水深 m	魚の体長* cm
		位置	大きさ	出現個数	反応水深(m)*	密度			
7/7	13:49 ~	st. 19-23	小	8	10-B	濃	24.4	40-60	2-4
7/7	14:08	st. 23	小	4	20-B	濃	26.0	45	2-4
7/7	14:16 ~	st. 23-24	小	10以上	15-B	濃	26.0	40	2-4
7/7	14:23 ~	st. 23-24	中、小	4	23-40	濃	26.5	43	2-4
7/7	14:35 ~	st. 24-25	小	2	30-B	中	26.3	45-40	4-8
7/7	14:53 ~	st. 25-26	小	連続	20-B	淡-濃	26.0	50	2-4
7/7	15:22	st. 26付近	小	1	30-40	濃	25.9	53	2-4
7/8	9:16	st. 28-27	小	3	0-5	中	23.5	31	4-7
7/8	9:34 ~	st. 27-22	小	連続	0-15	中	23.1	31	0-7
7/8	10:13 ~	st. 22-21	小	連続	0-B	中	23.1	15	0-14
7/8	10:33 ~	st. 21-20	中、小	連続	10-B	中	23.3	20	0-56
7/8	11:18	st. 18	中	1	B	中	21.6	82	4-7
7/8	11:33 ~	st. 18-17	小	連続	0-10	中	22.1	62	0-4
7/8	12:17	st. 17-12	点	連続	40-50	中	22.3	53	4-7
7/9	7:06	st. 8	小、中	2	2-30	中	21.7	32	0-7
7/9	8:03 ~	st. 5-3	小	連続	40-B	淡	22.4	46	0-4
7/9	9:23	st. 1	小	1	0-10	淡	22.0	60	0-4
7/9	15:12	st. 9	中	1	18-B	中	23.5	23	4
7/10	8:37	国東-st.13	小	1	0-10	濃	21.1	30	10

* 反応水深のうち、Bは底

* 魚群の構成主体となった魚の体長(計量魚探により算出された推定体長cm)

